

平成29年12月25日
九州電力株式会社『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

			[kW]	
指示日時	平成29年12月22日（金） 16 時 08 分			
対象エリア	九州エリア 種子島			
出力制御期間	平成29年12月23日（土） 09時00分～16時00分			
出力制御指示 を行った出力 の合計	最大余剰電力発生時刻	12時		
	出力制御必要量	410		
	制御設備量 [※]	750		
最大余剰電力 発生時点の 予想需給状況	エリア需要予想	15,500		
	発電出力合計	15,910		
	内 訳	水力	—	
		火力 (内燃力機最低出力)	8,250	
		自然変動電源	7,660	
その他		—		
その他	—			

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以上